

飛躍

HIYAKU

第280号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2009年9月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

皆既日食観測プロジェクトが無事終了!

第1回中等部体育祭開催



皆既日食(望星丸より撮影)



ダイヤモンドリング(望星丸より撮影)



本校屋上グラウンドでの観測



ストリーミング放送

1963年以来46年ぶりに、日本から見る事ができる皆既日食が7月22日に起こりました。東海大学では学園のスケールメリットを生かし、全国に広がるキャンパスや各校園と海洋調査実習船「望星丸」を用いて皆既日食や部分日食の同時観測を行いました。観測された日食の動画は学園高速ネットワークと衛星通信を用いて湘南キャンパスに集約し、1時間半の生中継番組として編集され、各校園においてストリーミング放送されるとともに、Yahoo!からも配信されました。本校からは中等部2年生1名と高校2年生1名、および引率教員の計3名が望星丸に乗船し皆既日食を観測するとともに、SSHクラス3年生の地学班4名を中心に、本校屋上から約75%欠けると予想される部分日食の観測を行いました。東京では前日から雨が降る最悪の天気でしたが、10時にはストリーミング放送を見るために、港区立高輪台小学校の児童・保護者・教職員約90名と本校生徒・教職員約30名の合計約120名が第一会議室に集合しました。全国的に

天気が悪い中、望星丸から見事な皆既日食の映像が送られてくると、第一会議室は大歓声の渦となりました。また様々な観測地点からの同時中継映像を見ることで、場所によって欠け方が異なる日食というスケールの大きい自然現象に参加者一同興味を持ったようです。参加者全員の日食を実際に見てみたいという願いが通じたのか、降り続いてきた雨もやみ11時ごろには厚かった雲も薄くなり始めたため、屋上グラウンドに移動し、雲という天然のフィルターを通して肉眼で部分日食を見ることができました。ほとんどの児童・生徒が日食を見るのが初めてということで感動し、自由研究のテーマにすることを決めた小学生もいたようです。

今年はイタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を宇宙に向けて観測してから400年、世界天文年という年です。剛健旅行でも素晴らしい星空を見ることができましたが、これを機会に時々夜空を仰ぎ、宇宙の不思議について考えてみてはいかがでしょうか。

第1回 中等部体育祭開催

体育祭実行委員長 山下 慶

3年A組 横浜市立上尾小学校出身

梅雨の中、体育祭当日は天候に恵まれて無事さいたまグラウンドで行うことができました。僕たち実行委員は体育祭に向けてさまざまな準備をしました。最初は体育祭でどんな道具が必要なのか、どんな競技があると良いかを話し合い、応援旗と得点板を作ることになりました。実行委員以外の人も手伝ってくれ、とてもスムーズに作ることができました。手伝ってくれたみなさん、ありがとうございました。また、競技は応援合戦を加えることにし、応援団を各クラスから男女3名ずつを募集しました。体育祭当日は応援団を中心に盛り上がったのでとても良かったです。そして、開会式では体育祭実行委員長からの挨拶をすることになっていたのですが、僕は個人的にとっても緊張しました。また、実行委員は各競技に参加する選手の誘導をしたり、玉入れのかごを押さえるなど、当日も一生懸命仕事に取り組みました。

今回の体育祭は第1回ということですので1からのスタートでした。しかし、みんなで協力してとても楽しい体育祭になったので本当に良かったです。1・2年生は来年度も今年同様、楽しい体育祭を作り上げてください。



入場



選手宣誓



色別選抜リレー



玉入れ



組体操



応援合戦



背渡りリレー



台風目

ダンス

二人三脚・おんぶ競争(女子)



みんなで応援



肩組競争



二人三脚・おんぶ競争(男子)

とても重かったトロフィ

赤組団長 小林 直紀

3年A組 横浜市立下野谷小学校出身

僕は今回赤組の応援団長をやらせてもらいました。これまで応援団をやったことがなかったので、最初は少し緊張していました。しかし、応援の振り付けや応援ソングなどを決められた期間内に作らなければならなかったため、緊張している場合ではないと頑張りました。そしてみんなで意見を出し合い、でき上がった時はとてもうれしかったし、ホッとしました。当日はみんな練習以上に声を出してくれ、応援合戦も盛り上がりました。また応援合戦以外でも自分たちから進んで学年を越えて応援してくれたので、とても楽しい体育祭になりました。赤組のみんなの努力がつまったトロフィを受け取った瞬間、とても重く感じました。最後には声がかかるほどでしたが、この体育祭を僕は一生忘れません。

努力の結晶

白組団長 飯島 隆人

3年B組 港区立赤坂小学校出身

僕は最初、応援団長になるつもりはありませんでした。しかし、先生が薦めてくださり団長となりました。「なんとかなるだろう」というような軽い気持ちでした。準備のため、応援団で会議が2、3回開かれました。その時僕は心の底から、団長になったのは失敗だったと思いました。なぜなら、自分は会議をまとめるのは下手だし、みんなを盛り上げられなかったからです。赤組の応援練習を聞いているだけで敗れる姿が頭をよぎりました。

当日、そんな心配をしたことを後悔し、それと同時に応援団長をしていて本当に良かったと感じました。応援団は前日に猛練習をしたことで、とても声が出て、みんなも声を出してくれました。その時、このガラ声は努力の結晶だと感じました。



赤組応援団参上☆



白組応援団参上☆

初めての体育祭

中村 実歩

1年A組 品川区立伊藤小学校出身

私にとって今年の体育祭は、中等部に入って初めての体育祭でした。私は応援団でもあったので、毎日練習があつてとても大変でした。また、体育の時間、クラス対抗の種目はいつもなかなかうまくいかず、みんな苦戦していました。その上ほとんどの種目がB組に負けていたのでつらい時もありました。でも本番当日、肩組み競争は失敗してしまいましたが、台風の目もリレーも白組に勝てたのでとてもうれしかったです。台風の目は、最後の最後まで接戦で、赤組が負けそうな時は誰からともなく応援の声が上がり、その結果赤組が優勝できた時はものすごくうれしかったです。

初の中等部体育祭!

洪 伽奈

2年B組 川崎市立住吉小学校出身

私たち白組は今回中等部初の体育祭では負けてしまいました。しかし、気持ちの上では負けなかったと思っています。普段あまり話をしないクラスメイトとも協力したり、一緒に応援したりと、団結することができました。そして2年B組ではそれまで大縄跳びの記録が200回いったことがありませんでしたが、なんと200回越えという結果を出すことができました。応援団の応援も、みんながしっかりと協力してくれたので気持ちのいい応援ができました。その他の競技でも結果的には負けてしまいましたが、みんな最後まで走りきり、最後まで頑張ることができたので、いい体育祭になったのかなと思います。これを機会に団結力のあるクラスになれたらと思います。

第41回 剛健旅行 1,353名参加 完歩率98.1%

7月15日、孺恋村の青々と広がるキャベツ畑の中で今年も剛健旅行を行いました。2・3年生の皆さんは、昨年と比べてどうだったでしょうか？雨が降ることの大変多い剛健旅行ですが、今年は天候に恵まれました。満天の星空を見上げた時には、歩き終えた達成感も一段と増したことでしょう。

剛健旅行ではなぜこんなにも苦しい思いをして歩くのでしょうか。その答えは「なぜ人生を生きるのか」という問いにも通じるものではないでしょうか。1・2年生は来年度、人生と剛健旅行を重ね合わせて歩いてみてはいかがでしょうか。

結果発表

| 高校男子トップ10 (39.7km) | | | | 高校女子トップ10 (27.0km) | | | | 中等部男子トップ10 (15.8km) | | | | 中等部女子トップ10 (15.8km) | | | |
|-----------------------|----|----|-------------------|-----------------------|----|----|-------------------|------------------------|----|----|------------------|------------------------|----|----|------------------|
| 1位 | 2年 | 4組 | 遠藤 集徳 (3時間53分) | 1位 | 2年 | 4組 | 馬場 千佳 (3時間14分) | 1位 | 2年 | A組 | 藤原 暁 (1時間30分) | 1位 | 3年 | B組 | 田村 祥子 (2時間7分) |
| 2位 | 2年 | 7組 | 福山 俊太 | 2位 | 2年 | 1組 | 山脇ぼえむ | 2位 | 3年 | B組 | 高橋 優輔 | 2位 | 3年 | B組 | 吉沼 侑貴 |
| 3位 | 3年 | 6組 | 田仲 和真 | 3位 | 2年 | 6組 | 水谷 美波 | 3位 | 3年 | A組 | 鶴田 裕也 | 3位 | 1年 | B組 | 吉田 瑠菜 |
| 4位 | 3年 | 6組 | 宮島 拓海 | 4位 | 2年 | 1組 | 安武 理紗 | 4位 | 3年 | B組 | 青木 昂 | 4位 | 1年 | B組 | 生沼みなみ |
| 5位 | 3年 | 8組 | 笠川 和哉 | 5位 | 2年 | 7組 | 名武 遼香 | 5位 | 2年 | A組 | 村山 航大 | 5位 | 3年 | B組 | 今関沙映奈 |
| 6位 | 2年 | 1組 | 三上 峻平 | 6位 | 1年 | 8組 | 藤井 弘絵 | 6位 | 2年 | B組 | 野田 雄平 | 6位 | 2年 | A組 | 藤野 莉佳 |
| 7位 | 1年 | 2組 | 薄田 一平 | 7位 | 1年 | 8組 | 戸田 有穂 | 7位 | 2年 | A組 | 高田 一慶 | 7位 | 2年 | A組 | 唐島 理都 |
| 8位 | 2年 | 3組 | 正田 隼 | 8位 | 1年 | 2組 | 石川 望瑛 | 8位 | 2年 | A組 | 椎名 卓巳 | 8位 | 1年 | B組 | 池田 有希 |
| 9位 | 2年 | 7組 | 栗原 紳輔 | 9位 | 3年 | 3組 | 山下 文香 | 9位 | 3年 | B組 | 伊藤 駿 | 9位 | 1年 | B組 | 伊藤 真穂 |
| 10位 | 2年 | 7組 | 高田 侑毅 | 10位 | 3年 | 6組 | 西 敦子 | 10位 | 3年 | A組 | 岸浪 駿人 | 10位 | 2年 | A組 | 豊崎 倫代 |



たくさんの人に支えられて

高校男子 第1位
遠藤 集徳
2年4組 川崎市立東橋中学校出身

私は今回の剛健旅行を自分の限界への挑戦として位置付け、「最初から最後まで走りきる」ことを目標に参加しました。去年は怪我をしていたこともあり、ゴミ拾いをしながらゴールを目指しましたが、今回は始まる前から「1位でゴールしたい」という思いがありました。本来、剛健旅行は順位を争うものではないですが、良い結果が出れば自分に自信が持てると思ったからです。

しかし、実際にやってみると、40キロを走ることは決して簡単なものではありませんでした。途中から体のあちこちが痛くなったり、両足がつってしまい走れなくなったりしました。けれども、そんな中で最後まで諦めずにゴールできたのは、応援してくれた友達がいたことや、チェックポイントにいらっしゃる先生方から「もう少しだ、頑張れ」と励ましの言葉をたくさんいただいたからだと思います。40キロ全てを走りきるという目標は達成できませんでした。この辛い経験が今後の長い人生においてきっと自分自身プラスになって返ってくる、そう思えた剛健旅行でした。



夏休みの活動報告(その1)

私たちのエネルギー」～応援してくださった多くの皆様に感謝をこめて～

サッカー部主将 新城 裕之

3年7組 川口市立元郷中学校出身

インターハイで全国大会に出場できたことは、非常に素晴らしいものでした。その中でも最も印象深かったのは、やはりチームメイトや東京から駆け付けてくれた多くの人達の応援です。

どのチームにも負けない、1人ひとりが気持ちを込めた全力の応援は、私たちの心と体を動かしてくれました。試合後、「この素晴らしい応援がなかったら、この舞台に立つことは出来なかったな」と

改めて感じました。非常に感謝しています。本当にありがとうございました。

青森山田との試合は2対4で逆転負け。非常に悔しい思いをしました。目標にしていた“全国制覇”は、達成できずに終わってしまいました。しかし、私たちは全国大会に出場したことで着実にレベルアップしています。次の大会=最後の大会である選手権は都大会ベスト16からスタートです。全国出場まで1つ1つ取りこぼさないようにチーム一丸となって闘っていきたいです。私たち3年生にとって最後の大会なので、悔いの残らない試合して良い結果を出したいです。そして再び全国大会に出場し、今度こそ全国制覇を成し遂げたいです。皆から愛されるチームになってこれからも闘います。今後とも応援をよろしく願います。



夏の大会を終えて

野球部主将 廣野 慶明

3年3組 新宿区立西戸山中学校出身

大会結果

- 1回戦 対 都立目黒 9-1
- 2回戦 対 都立小岩 7-0
- 3回戦 対 東京実業 9-2
- 4回戦 対 駿台学園 6-3
- 5回線 対 成立学園 3-4



昨年準優勝で終わり、あと1勝というところで味わった天国と地獄のような悔しさを胸に、私たちのチームはスタートしました。主将としての1年を振り返ると、苦しいことばかりが思い出されます。多くの方の期待や準優勝校としてのプレッシャーを感じ、押し潰されそうになることが何度もありました。しかし、そんな時に支えてくれたのはチームメイトや父母の方たちでした。本当に感謝の気持ちでいっぱいになり、それを甲子園出場という形で返すことが最大の恩返しだと思いました。

迎えた3年生にとって最後の夏。結果はベスト16という形で終わってしまいましたが、悔いはありません。スタンドの仲間たち、ダンス部、吹奏楽部、OB・OG、父母の方々、本当に全員が心一つになったのを感じることができたからです。応援団は東京一だったと思います。その中でプレーできたことが、メンバーにとって一番の財産になりました。甲子園出場はなりませんでしたが、人間として一回りも二回りも大きく成長することができ、本当に充実した2年半でした。私たちが果たせなかった甲子園出場を後輩たちには是非つかんでほしいと思います。そして監督をはじめ関係者の方に感謝の気持ちを忘れず、高輪台野球部の誇りを胸に生きていきたいと思っています。

最後になりましたが、この夏応援してくださった皆さんに野球部代表としてお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

ミスダンスドリル日本大会を終えて

ダンス部部长 日比 裕美

3年6組 世田谷区立松沢中学校出身

私たちダンス部の1番の目標であるミスダンスドリル。私たち3年生14人は予選を突破し、日本大会に出場しました。高校生のみ出場の、とてもレベルが高い大会です。私たちがエントリーしたHIPHOP部門Large編成は特にレベルが高いと言われています。



その中で、強豪と呼ばれるチームに何としてでも追いつきたくて、14人の力を合わせてこれまで練習を積み重ねてきました。強くなりたいという気持ちと東京体育

館まで見に来てくださるすべての人に感動を与えるダンスをしたいという気持ちを忘れずに毎日踊ってきました。そして迎えた本番の日。会場の広さや他のチームの演技は私たちに圧倒しました。

しかし、私たちのダンスをし、全てを出し切れば、自然に結果がついてくると信じていたので、全力で2分半を踊ることができました。

結果は審査員特別賞でした。悔しい気持ちもあり嬉しい気持ちもありました。最後は応援してくださった学校の先生方、保護者の方、後輩たちが笑顔で迎えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいだった私たちは心からのお礼をすることができました。私はこのチームに入れてダンスだけでなく様々なことを学ぶことができました。この経験は一生忘れることはありません。ありがとうございました。

※レスリング、学園オリンピック等の「夏休みの活動報告」は、夏休みの活動報告(その2)として10月号でお知らせいたします。

高輪カップ 開催

卓球 女子バスケットボール 吹奏楽

男子 卓球の部

| | |
|-----|-------------|
| 優勝 | 川崎市立東高津中学校 |
| 準優勝 | 江東区立深川第七中学校 |
| 3位 | 葛飾区立常盤中学校 |

参加校

| | | |
|-------------|--------------|------------------|
| 足立区立東綾瀬中学校 | 江東区立深川第七中学校 | さいたま市立常盤中学校 |
| 荒川区立尾久八幡中学校 | 世田谷区立深沢中学校 | 川崎市立東高津中学校 |
| 板橋区立板橋第一中学校 | 練馬区立中村中学校 | 習志野市立第一中学校 |
| 葛飾区立青戸中学校 | さいたま市立大宮東中学校 | 東海大学付属高輪台高等学校中等部 |
| 葛飾区立常盤中学校 | さいたま市立大谷場中学校 | |

女子 卓球の部

| | |
|-----|-------------|
| 優勝 | 習志野市立第一中学校 |
| 準優勝 | さいたま市立常盤中学校 |
| 3位 | 江東区立深川第七中学校 |

参加校

| | |
|--------------|------------------|
| 江東区立深川第七中学校 | 越谷市立西中学校 |
| さいたま市立大宮東中学校 | 習志野市立第一中学校 |
| さいたま市立常盤中学校 | 東海大学付属高輪台高等学校中等部 |

顧問 細田 功



川崎市立東高津中学校



習志野市立第一中学校

第4回高輪カップ卓球の部が7月5日(日)、本校アリーナにおいて行われました。男子は、全国・関東大会出場経験をもつ学校も加わり、熱戦が繰り広げられました。決勝では、東高津中学校が深川第七中学校を3対0で破り、初優勝を飾りました。女子は、昨年に続き習志野第一中学校が3度目の優勝を飾りました。

本校中等部男子は、予選リーグを2位で通過し決勝トーナメントに進出しましたが、惜しくも葛飾区立常盤中学校に1対3で敗れてしまいました。しかし、技術力やチーム力では昨年以上に大きく成長した姿を見ることができました。女子は、残念ながらリーグ戦で1勝をあげることができませんでしたが、選手一人ひとりの頑張りが見られた有意義な大会となりました。

女子バスケットボールの部

| | |
|-----|---------------------|
| 優勝 | 世田谷区立烏山中学校(3年連続3回目) |
| 準優勝 | 中央区立銀座中学校 |
| 3位 | 墨田区立両国中学校・川崎市立平間中学校 |

参加校

| | |
|-------------|------------------|
| 世田谷区立烏山中学校 | 川崎市立平間中学校 |
| 大田区立東蒲中学校 | 墨田区立両国中学校 |
| 練馬区立開進第三中学校 | 中央区立銀座中学校 |
| 大田区立蓮沼中学校 | 東海大学付属高輪台高等学校中等部 |

高校監督 高橋 佑未子

本大会も4回目を迎え、各参加校の顧問の先生方をはじめ、多くの中学生と保護者の皆様のご協力が無事に大会を終えることができました。中学生の精一杯ボールを追うプレーや、大きな声を出してディフェンスをする姿勢には、大会を運営する高校生にも大きな刺激となりました。特に、大会3連覇を果たした烏山中のスピード感溢れるプレーには目をみはるものがありました。また、新チーム(中学2年生を主体としたチーム)で出場して下さった中学も最後のホイッスルが鳴るまで決して諦めず、全力のプレーを見せてくれたことに感謝いたします。今後もバスケットボールを通して、チームメイトへの思いやりや支えてくださる方への感謝の気持ちを忘れずにプレーを続けてくれることを期待しています。



吹奏楽の部

参加校

品川区立東海中学校 葛飾区立常盤中学校 葛飾区立立石中学校 川崎市立渡田中学校 東海大学付属高輪台高校中等部
 横浜市立鴨井中学校 さいたま市立土屋中学校 市川市立妙典中学校 江戸川区立東葛西中学校
 荒川区立第一中学校 大田区立矢口中学校 川口市立北中学校 安孫子市立白山中学校

顧問 田村 基成



去る、7月28日(火)に本校アリーナにて第1回高輪ウインドフェスティバルが開催されました。吹奏楽は試合をするわけにはいきませんので、どのような形で実施するか検討した結果、吹奏楽コンクール審査員を務めておられる音楽家を講評員としてお招きし、講評いただく審査なしのコンクール形式で実施することになりました。

大会当日は全部員が大会のスタッフとなり、誘導・案内・舞台設定など業務にあたりました。当日は出場

中学生、保護者で来場数は600名を超え、本校のアリーナは一大コンクール会場となりました。出場して下さった中学校顧問の先生方からは「高輪台の生徒が本当によく尽くしてくれた」「本校の卒業生が高輪台で生き生きと高校生活を送っている姿を見ることができてうれしく思った」「また来年も是非参加したい」との声が寄せられ、本校部員にとってもスタッフとして運営にあたっていく中でホスピタリティを学ぶ良いきっかけとなりました。

「東京アスリート育成推進校」指定について

平成25年に開催される「東京国体」における総合優勝に向けて、平成20年に策定された「東京都競技力向上基本方針及び実施計画」が展開されています。この一環として「東京アスリート育成推進校」制度が発足され、各競技で活躍が期待される高等学校が指定されました。本校では、最近の都大会での活躍が認められ「卓球(男子)」と「バドミントン(男子)」が指定を受けました。東京国体少年の部で高得点を獲得するために、都内の強豪校の国体参加とモチベーション向上、また優秀な選手が活躍できる場を確保し選手を強化することを、都が支援するということです。併せて、保護者からの理解・協力も得ながら、強化体制作りを推進していきます。

内容は、「平成21年度より5カ年計画で強豪校及び

強化拠点校を指定し、当初3年間は選手強化基盤を充実させる」「平成24年度及び国体開催25年度は、それまでの実績から対象を絞り込み各競技4校程度指定する。また、平成23年度1年生が25年度国体で最も活躍できる人材が多く在籍している学校も指定する」となっています。

指定校への施策として、学校名の公表、指導者やトレーナー・栄養士の派遣、強化活動への参加機会提供、が計画されています。3年後の第4次～5次アスリート育成推進校として指定されるよう、2つの部活動の活躍を期待しています。

なお、柔道、サッカーなど強化指定校制度を取っていない競技もあります。

バドミントン部顧問

益田和美・阿部恵子・森谷智明・小野亜紀

高輪台バドミントン部は、男子校時代の同好会の期間を除けば、まだ部としての歴史は10年に満たない若い部活動です。共学となり部に昇格してからは、男女共同の活動で部員数は多くなり、反面、コート数は少なく、十分なコート練習ができないう状況でしたが、工夫と協力で今日に至りました。今回の「東京アスリート育成推進校」への推薦は、現役部員の頑張りもさることながら、歴代部員たちの真摯な活動姿勢が評価された結果としてうれしく誇りに感じています。部員一同、これからさらに、バドミントンを通して心身の研鑽に励み、好結果を残そうと決意を新たにしています。

卓球部顧問

野崎和夫・田村英典・細田功

高輪台高校卓球部は中等部・高校と一緒に活動を行っています。中等部・高校の部員合わせて50名を超す人数での活動のため、毎日の活動は決して満足のいくものではありません。しかし、練習内容を工夫したり土日には他校に練習試合にでかけたりと努力を積み重ねてきました。その結果、昨年度には東京都第5位となり初めて関東高等学校新人卓球大会に出場しました。今回の「東京アスリート育成推進校」への指定は、日々の努力が認められた結果だと思いません。今後も上位進出を目指して躍進していきたいと思っています。

高校1学年だより

スポーツ大会を終えて

高校に入学して3ヵ月余り、入学当初の緊張した雰囲気はどこかに去り、一人ひとりが自分らしさを発揮しながら、各競技とも熱戦が繰り広げられました。クラスの絆が深まり、一人ひとりの良き思い出になったことと思います。

(1組学級担任 細田 功)

スポーツ大会委員 **坂井 健郎**

1年1組 目黒区立第四中学校出身

6月27日(土)、僕たちにとって初めてのスポーツ大会が行われました。天候にも恵まれ、みんなそれぞれの競技を一生懸命に励みました。

僕が参加したソフトボールは、3位という結果に終わってしまいましたが、内容的には濃い試合ばかりだったと思います。特に準決勝での5組との試合は、互いに優勝をかけ白熱した試合が繰りひろげられました。1組は残念ながらサヨナラ負けをしてしまいましたが、この大会の目標は「各クラスの親睦を深めること」で、それは十分に達成できたと思います。それと同時に僕たちは、今までになかった何かを手に入れた気がします。

| 結果 | 優勝 | 準優勝 | 3位 |
|----------|----|-----|-------|
| 総合順位 | 8組 | 2組 | 1組・7組 |
| 女子キックベース | 8組 | 4組 | 3組 |
| 女子サッカー | 8組 | 1組 | 2組 |
| 男子サッカー | 2組 | 6組 | 7組 |
| 男子ソフトボール | 7組 | 5組 | 1組 |
| 男女混合リレー | 8組 | 3組 | 5組 |



優勝した8組

剛健旅行

学年所属 **金子 真奈美**

「人は歩いてゆける。どこまでも。」

ある年の剛健旅行を、こう締め括った先生がいらいしゃいました。簡素な言い回しの中の詩的な抒情に、剛健旅行後のあのすがやかさと相まって、忘れられない言葉となりました。そしてこの言葉を、歩くこと叶わず、夜通し手伝いに徹した生徒たちは勿論のこと、剛健旅行を超えるならば、わけあって歩くことの不可能な人々とも、分かち合うことはできないか、と思ったのです。

剛健旅行は女子20km、男子40kmを歩き通す学校行事。その苛酷さはいまさら言うまでもありません。特に一晩かけて歩き通す男子コースは後々の語り草にな

るほど。では、あの気の遠くなるような距離と漆黒の夜は、私たちに何をもたらしたのか。いったい剛健旅行とは何なのでしょう。

さわやかな青空は束の間、待ち構える夜の闇。目指すゴールはその闇ゆえに無限に遠く感じられ、携えたのは、この道が、今の一步がゴールにつながっていると信じる心だけ。闇夜の向こうに星空を思い、夜の底に暁の光を憧れる。そして自己を振り返る内省の時。

私たちはあの晩、まだ見ぬものに思いを巡らし、待ち望み、想像し続けたのではなかったか。「人は歩いてゆける。どこまでも。」確かに歩いてゆけるのです。人は誰もが、想像力という2本の足でどこまでも、時間を超え、空間を超え、どこまでも深く歩いてゆく力をもっているのです。

高校2学年だより

それぞれの感動を胸に…研修旅行

■オーストラリア 研修コース

引率責任者 田中 正行

澄み渡った青空、オーストラリアの研修旅行は快晴でのスタートとなりました。現地での1日目。現地の大学生と英語でコミュニケーションを取りながら、シドニー市内を班ごとに見学しました。2日目も天気がよく、世界遺産ブルーマウンテンズの壮大な景観は非常に感動的でした。3日目はブリスベンに移動し、パラダイスカントリーでカンガルーの餌付けをしたり、シーブドッグショーを見ました。4日目の午前中に行ったカランピン野鳥園は非常に敷地が広く、オーストラリアの動物を堪能しました。午後はシーワールドで様々なアトラクションに挑戦したり、イルカショーを見たりと非常に有意義な時間を過ごしました。しかし一番印象的だったのは生徒たちの態度でした。班長を中心としてしっかりと集合時間を守り、公共の場でマナー良く行動し、挨拶をしっかりとできたことだと感じています。この研修旅行は生徒たちにとって一生の思い出になることでしょう。



■オーストラリア ホームステイコース

引率責任者 野口 大輔

3年前にも書きましたが、みんなへお願いがあります。現地でおーストラリアの人たちを「外人さん」と呼ぶのはやめてください。向こうでは、私たちのほうが「外人」です。でも、われわれ日本人って、つい紅毛碧眼の人を見るともちろん、親しみを込めてですが「外人さ〜ん」と言ってしまうんですね。それはつまり、それだけ日本という国が異文化を遮断しているということ。ふだんの暮らしの中では海の向こうに広がる「世界」



を感じることは少ないだけに、このホームステイは短いながらも人生観を変える大きな転換点となったのではないのでしょうか。

次年度以降に本コースを希望する生徒が増加してくれることを、一教員として切に願っています。

■沖縄コース

引率責任者 山口 恵美子

梅雨明け前の沖縄。常に雨という文字が付いて回りましたが、いざ観光となると思ったより暑くなく雨も降らず、丁度良い天気でした。幸いなことにマリンスポーツ日に梅雨明けし、天候に恵まれた研修旅行だったといえるでしょう。

沖縄は豊かな自然や美しい海を堪能できる反面、64年前には日本で唯一地上戦が行われた悲惨な場所でもあります。そんな中、平和祈念資料館やひめゆりの塔など戦跡地巡りすることで、命の尊さや平和であることの喜びを学び、戦没者の冥福と世界の恒久平和を願いました。また、マリンスポーツではエメラルドグリーンの海でダイビングを行い、想像を絶する海の世界にただ驚嘆するばかりでした。毎日多くのことを学び、感じた6日間であったのではないのでしょうか。

また、この研修旅行で団体行動や班の連帯感がいかに大切であるか身に沁みて感じたことと思います。これをいつまでも忘れず、残りの高校生活を送って欲しいです。



■ハワイ 研修コース

引率責任者 高橋 光太

出発の夜、飛行機に乗るのが初めてという生徒も半数以上いたせいか、成田を飛び立った時に「うおーっ」という歓声と拍手がおきました。とても微笑ましい光景でした。飛行機の中で、色々と迷惑をかけないかと心配していましたが、CAの方からは、「非常に態度の良い生徒さんたちですね。」と、お誉めの言葉をいただき、鼻が高かったです。現地に着いてからは、時差ぼけによる眠気に耐えながら、ハワイ東海インターナショナルカレッジでフラダンスやハワイの文化について勉強し、2日目以降はアリゾナ記念館、ダイヤモンドヘッド登山、ビーチアクティビティ、ハワイ大の生徒との交流とすべて晴天のもとに十分な研修ができました。また、自由時間には得意の(?)英語を駆使してお土産や自分のお気に入りの品物をショッピングして過ごしていたように思います。最後の夜には、「日本に帰国したくないなあ。」と、多くの生徒が漏らすほど、充実した日々でした。帰りの飛行機も、非常に良い態度で、最後までピシッとしてくれた素晴らしい研修旅行でした。友人との親睦も深まり、これからの学校生活でますます生徒たちが成長してくれることと思います。



■ハワイ ホームステイコース

引率責任者 吉田 恵美

ホストファミリーと週末を過ごす時間を作るため、昨年の研修旅行から土日ははさんで実施されています。日本から一生懸命考えて用意したお土産も大変喜ばれたようで、ジェスチャー(沢山の?)を交えての会話を楽しみなながらも、家事を積極的に行うホストファミリー、階段沿いの壁に貼られた沢山の家族写真、大きなキッチンカウンター、ハワイの家庭料理など多くのことを学んできたようです。普段のオーラルコミュニケーションの授業では経験できない生の体験は、生徒たちの生涯の思い出になるでしょう。

その一方で少し残念なこともありました。ホストファミリーと過ごす貴重な自由時間に買い物に行き過ぎた人も多かったように感じます。確かにハワイではショッピングも魅力的ですが、ベビーカーを連れて何時間も一緒に歩かされるホストマザーに同情したのも事実です。来年はホームステイの意義をしっかりと考えて、個人旅行ではできないことを一層体験して欲しいです。



■北海道コース

引率責任者 中村 春樹

今回の北海道コースで最も記憶に残った場所と訊かれたら「別別湖」と答える生徒が多いのではないのでしょうか。ほとんどの生徒が初体験だったカヌーは、普段見ることができない水面近くからの風景を楽しむことができました。フィッシングを選んだ生徒は釣った魚を焼いて食べることができました。マウンテンバイクでは、人工物で遮られることがない広大な自然の中を風を感じて走ることができました。そして何と云っても、ナイトウォッチングは圧巻でした。今年、北海道に行けた生徒は本当に幸運でした。どんな言葉を用いても形容し難い、そんな1時間だった筈です。旅行の良いところは、普段の生活を送ってはいけな気が付かないことに出逢えることだと思います。この出逢いを決して忘れず、大切にしたいと思っています。



高校3学年だより

スポーツ大会

6月30日(火)は3年生にとって高校生活最後となるグラウンドでのスポーツ大会の予定でした。しかし、前日の降雨でグラウンド状態が不良であったため、本校アリーナにてスポーツ大会が行われました。

当日は教室にてHR終了後、アリーナに集合して開会式が行われました。塚田先生の司会のもと、江口学年主任の開会宣言が行われました。その後、手拍子(?)による校歌斉唱、諸注意に続き午前中はバレーボールとドッジボール。午後は男女バスケットボール。最後に綱引きが行われました。

| | | | |
|----------|----|----|----|
| 女子バレーボール | 1位 | 2位 | 3位 |
| | 2組 | 7組 | 1組 |

| | | | |
|------------|----|----|----|
| 女子バスケットボール | 1位 | 2位 | 3位 |
| | 6組 | 5組 | 3組 |

| | | | |
|----------|----|----|------|
| 男子バレーボール | 1位 | 2位 | 3位 |
| | 8組 | 5組 | 4・6組 |

| | | | |
|------------|-----|----|------|
| 男子バスケットボール | 1位 | 2位 | 3位 |
| | 9組B | 4組 | 2・8組 |

| | | | |
|--------|----|----|------|
| ドッジボール | 1位 | 2位 | 3位 |
| | 4組 | 6組 | 1・2組 |

| | | | |
|-----|----|----|------|
| 綱引き | 1位 | 2位 | 3位 |
| | 6組 | 9組 | 3・5組 |

※1・2組… 男子バレー不参加。女子バスケ2チーム参加。 9組… 男子バスケ2チーム参加。女子バスケ不参加。

| | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 総合順位 <small>優勝5点・準優勝3点・3位2点でカウント</small> | 優勝 | 準優勝 | 3位 |
| | 15点 | 11点 | 10点 |
| | 6組 | 2組 | 4組 |

終了後は、各クラス結果に関係なく和やかなムードでクラス写真を撮影していました。

11月21日(土)に行われる次回のスポーツ大会では、下位に甘んじたクラスの巻き返しを期待したいと思います。



作文コンテスト

6月1日、高校3年生にとっては東海大学推薦入試の書類審査の一つとして東海大学付属小論文試験が行われました。日時同じくして、中等部でもその予行練習として、作文コンテストが行われました。中等部1・2年生が「私の大切な友達」、中等部3年生が「私が取り組むエコ活動(自然環境保護運動)と地球の未来」というテーマに対して50分間で400字の作文に取り組みました。50分間で自分の考えをまとめ、文章にすることは簡単なようで難しいものです。今回グランプリ、準グランプリに選ばれた皆さんはそれぞれの思いを400字という文章のなかでしっかりとまとめてくれました。皆さんも他の人の文章や読書を通して書き方を学び、自分の文章に活かしましょう。(なお、2年徳下くんは昨年度に引き続き2年連続グランプリ受賞です。おめでとう!)

1年グランプリ

私の大切な友達

江川 真琴

1年A組 足立区立梅島第二小学校出身

私の大切な友達は、たくさんいます。その中には色々な性格の人たちがいるので毎日が楽しいです。明るくて元気な子、いつもおとなしくて頼りになる子、おもしろくて笑顔がすてきな子など、まだまだたくさんいます。でも、どうしてその友達に会えたのか、いつも不思議に思います。考えてみるのですが、親しくなりすぎてわからなかったり、気づかないうちに友達になっていたり…。よく考えてみると会えたこと、そのことは『運命』なのだと思います。小学校で友達ができ、この中等部に来ても友達ができ、それはきっと、何もかもが運命なのだと思います。だからこそ、今、会えた友達を大切に生きていくことで、その友達と別れた時に大切な友達だったなと思えるのだと思います。そのような友達に悪口を言ったりいざらをしたりするのは、大切な出会いを無駄にすることだと思います。これから友達を大切に、毎日が楽しい人生を歩み続けていきたいと思っています。

2年グランプリ

私の大切な友達

徳下 善大

2年A組 大田区立松仙小学校出身

僕にとって大切な友達、それは小学校の友達だったり、習い事の友達、今のクラスの友達、クラスは違ってもよく遊ぶ友達など、いろいろな友達がいます。特に小学校の友達とは今も遊んでいます。しかし僕は、友達だからといってなんでもかんでも言われたことをやるわけではありません。僕が大切にしている友達も、きちんといやならいやと言ってくれる友達です。僕自身が、物事をはっきりと言ってしまうタイプなので、同じタイプだと話しやすいわけです。時には口論になってしまうこともあります。しかし口論することによって相手の気持ちや考えていることが分かるので、何も言わないで黙っているよりもお互いに分かり合うことができます。それによって、もっと仲良くなることが多いです。今の学年に友達は十人いるのか分かりません。しかし物事をはっきりと言おうことのできる本当の友達は数人しかいないと思っています。みんなの大切な友達はどんな友達かは分かりません。でも僕の大切な友達、それは物事をはっきりと言おうことのできる本当の友達です。

3年グランプリ

私が取り組むエコ活動(自然環境保護運動)と地球の未来

宇野 悠人

3年B組 大田区立久原小学校出身

私が取り組んでいるエコ活動は、手を洗う時に水を出しっ放しにしないことです。地球は水の星と呼ばれるくらい水が一杯あります。しかし、それには限りというものがあります。水というものは動物になくってはならないものです。つまり、動物にとって命なのです。その水を私たち人間が奪い取って良いのでしょうか。動物だけではなく、人間にも大切な物です。先日テレビで赤道付近の子供がきれいな水を飲めていなく、とても汚い水を飲んでいました。私はそのとき、日本人だけこんな良い暮らしをしているのだろうかと思いました。しかし、私は思っただけで何もその子たちにしてあげてはいません。

人間は自分がやられて初めてそのことの重大さに気付くのでしょうか。自分がやられないと何もしないという人間を変えることが、これから私たち人間が取り組むべきエコ活動なのです。

準グランプリ受賞者

| | | | |
|----|----|-------|-------------|
| 1年 | B組 | 伊藤 真穂 | 千葉市立草野小学校出身 |
| 2年 | B組 | 藤城 孝明 | 豊島区立池袋小学校出身 |
| 3年 | A組 | 中川 優輝 | 大田区立赤松小学校出身 |



グランプリ、準グランプリ受賞者たち

2009年度学校運営方針

全教科によるSSH活動への積極的な取り組みと 女子理工系進学者推進の研究

文部科学省から2004年度に採用されたSSH活動も、2006年度でその任期を終え、2007年度から「数学と理科の魅力を実感させて、理工系分野へ進学させ、国際性を備えた人材育成をはかる高大接続を考えた一貫教育プログラムの研究開発。また、社会とつながり、男女共同参画を推進する学校教育・学習のための、連携・企画、評価、交流・成果、普及等の手法に関する研究開発。」を研究開発課題として、さらに5年間の研究の延長が認められました。今年度はその3年目に当たります。

また、東海大学が文部科学省から平成18年度より「女子中高生理系進路選択支援事業」に採択され、本校も学園から「女子理工系進学モデル校」に指定され、女子中高生の科学技術分野に対する興味・関心を喚起し、理系への進路選択を支援する研究を推進することとなりました。

全教科によるSSH活動への積極的な取り組み

- ①文部科学省SSH指定校としての3年間を終え、新たなる5年間の活動を開始するにあたり、短期目標および長期目標を設定し、より充実したSSH活動を推進する。第2期3年目の今年度はパシフィコ横浜で実施された「生徒研究発表会」において口頭発表を行い、秋には本校において成果報告会を実施する。
また、東京都指定校合同発表会(12/20)、関東近県SSH合同発表会(3/21 本校会場)等を企画、運営する。
- ②第3学年SSHクラスでは、「課題研究(卒業研究)」の授業において、第2学年SSHクラスでは、「課題実験」の授業において、より発展的な探求活動を目指す。
- ③全教科が連携した本校独自のプログラム「科学倫理」のさらなる充実を図る。
- ④数学においては、理科の授業がスムーズに行われるよう連携し、新たなカリキュラムの構築を行う。
- ⑤本校中等部や普通クラス、および近隣の小学校、中学校、高等学校との連携をはかり、成果の普及に努める。
●日食観測プロジェクト(7/22) ●スーパーサイエンス教室(12/19)
- ⑥「国際化」に対する取り組みを研究する。

女子理工系進学者推進の研究

女子理工系進学モデル校として、女子生徒が理工系学部・学科への興味関心を高めるような教科指導や進路指導の研究を推進し、その成果を各付属校に発信する。



SSH活動報告

7月21日から3泊4日で、1年SSHクラス46名が科学体験学習旅行をしてきました。見学先は静岡県東海大学開発工学部沼津校舎、東海大学海洋科学博物館、愛知県の生理学研究所・基礎生物研究所・分子科学研究所、トヨタ産業技術記念館、岐阜県の核融合科学研究所、長野県の養命酒駒ヶ根工場、野辺山国立天文台です。今年度は、TA（ティーチング・アシスタント）として2・3年生のSSHクラスの生徒10名が参加し、1年生をサポートしました。各施設での講義、実験・実習を通して生徒たちは普通の授業ではできない貴重な体験をすることができました。

炭素の可能性

澁谷 朋子

1年9組 横浜市立岩崎中学校出身

今回の科学体験学習旅行で、様々な研究所や施設を回りました。その中でも一番印象に残っているのが、東海大学開発工学部物理化学科でふれた炭素素材です。前から「カーボンナノチューブ」などの名前を聞いて、興味を持っていた分野でした。「炭素素材」とくくってもその形状は様々で、太さ、数マイクロメートルの糸状のものから幕状、棒状などがあり、それに応じて用途も変わってきます。例えば、糸状のグラファイト(炭素)を織り込めば耐火性がアップするし、グラファイトとプラスチックの比率で強度を変えることもできます。私たちの回りでも、携帯の電池パックに使われていたり、スペースシャトルにも利用され、炭素材料は欠かすことのできない材料ですが、これからの利用法も無限と言っても過言ではないと思います。今回、実際に炭素素材にふれられ、深く知ることができ、全体を通して貴重な体験ができた4日間でした。



何が見えるかな?(開発工学部にて)

新たな立場から

清水 憲政

2年9組 練馬区立開進中学校出身

僕は、科学体験学習旅行にTA（ティーチング・アシスタント）として一緒に参加しました。僕たちの仕事は、1年生に指示をしたり、プレゼンのアドバイスなどをしたりすることです。

最初に一人ひとりのプレゼンを聞いた時は『この先、大丈夫か?』と思うほどだったのが、半分を過ぎたぐらいには『本当に一緒に来た人達か?』と疑うぐらいプレゼンテーション能力や生活態度がガラリと変わり、とても驚きました。僕たちの時以上に変化が著しくて驚かされました。

TAの立場は、責任感と行動力が求められました。難しかったですが、3年生に手伝ってもらいながら自分たちなりに頑張りました。1年生の時には知らなかったTAの人たちの苦勞も知りました。僕たちも1年生を教える中で、学ぶことが多く大きく成長することができました。参加できて、とても楽しく1年生も3年生も皆で成長できました。TAをやって良かったと思っています。



しっかり聞いて大事なところをメモしよう!
(野辺山国立天文台)

3回目の科学体験学習旅行

山中 紀央子

3年9組 台東区立上野中学校出身

1回目と2回目とは全く違う科学体験学習旅行でした。今年は3年生がいたからです。では、3年生の役目とは何なのか。去年は2年生のTAが6人しかいなくて、全体を見ることができませんでした。しかし、今回は3年生が全体をみることによって、足りない所をサポートできました。2年生は、TAとして旅行に行くのは初めてなので戸惑うこともあり、全体を見ている余裕は無いと思います。そこを助けるのが3年生の役目だと思いました。1年生のための旅行ですが、同時にTAにとってとても勉強になる旅行だったと思います。毎日色々なことを経験し、何かをつかめたような気がします。今回の旅行で、1年生は成長を見せてくれて、2年生はさらに頼れるようになっていて、私は見ていてとても嬉しくなりました。また、短い時間でも人は成長できるということにもとても感動しました。科学体験旅行はみんなにとってとても良い旅行になったと思います。



10名のTAが1年生をサポートしました

お知らせ

第8回中等部・高校合同体育祭

9月30日(水)

本校総合グラウンドにて 9:00 開会式

- 雨天の場合について
9月30日(水)が雨天の場合は10月6日(火)が体育祭、9月30日(水)は振替休日です。
(9月30日体育祭実施の場合は10月6日は振替休日です)
- 実施かどうかの最終的な判断は下記の
本校ホームページで確認しましょう。
<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/hp/keitai.htm>
- 運動靴を忘れずに持参しましょう。



最寄駅：JR高崎線さいたま新都心
 ※さいたま新都心駅からグラウンドまでは徒歩14分です。
 ●品川駅からJR線経由で約45分
 ●泉岳寺駅から都営浅草・JR線経由で約53分
 ●白金高輪駅から東京メトロ南北線経由で約56分

行事予定

September 9月

October 10月

- 1日(火) 避難訓練(1限目)、朝礼後短縮授業
- 3日(木) 学園基礎学力総合試験(高3)
外部実力試験(高1、高2、中等部)
- 5日(土) 後援会委員総会
- 8日(火) 中学校巡回、母校訪問(高1)
生徒自宅学習日(高校2、3)、水泳実習(中等部)
- 9日(水) 専門医によるカウンセリング
- 15日(火) 前期期末試験(高校、～18日)
前期期末試験(中等部、～17日)
- 18日(金) 写生大会(中等部、雨天時午前中授業)
- 21日(月) 敬老の日
- 22日(火) 国民の休日
- 23日(水) 秋分の日
- 24日(木) 答案返却
- 25日(金) 生徒休業日
- 28日(月) 成績不振者指導
- 29日(火) 授業日・校医相談日
- 30日(水) 第8回中等部・高校合同体育祭(雨天時振替休日)

- 1日(木) 後期始業式
- 3日(土) 保護者会
- 6日(火) 体育祭予備日1(雨天時授業)
(9/30体育祭実施の場合、振替休日)
- 7日(水) 建学祭開祭式(7限目)
- 8日(木) 建学祭準備、校医相談日
- 9日(金) 建学祭準備
- 10日(土) 第45回建学祭(～11日)
- 12日(月) 体育の日
- 13日(火) 建学祭閉祭式、保護者面談(高2、～11月21日)
- 14日(水) 体育祭予備日2(雨天時授業)
- 15日(木) 学年集会(中3、高3)
- 16日(金) 教育実習(～11月6日)
- 17日(土) 英検(中2、中3、高1、高2、高3)※高1、2は希望者のみ
- 18日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 22日(木) 東海大学進学説明会(高1、1限)
- 24日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 29日(木) 学年集会(中1、高1)
- 31日(土) スポーツ大会(高2、本校アリーナ)

研修旅行(高校2年)の様子



オーストラリア



ハワイ



沖縄



北海道

編集後記

かつてない好天に恵まれた第41回剛健旅行、区間歩行の生徒を除いた完歩率は98.1%と過去最高を記録した。男子30km地点で、数少ない途中棄権者の1人を後尾車に収容した。彼は完歩できなかったことを恥じ、しきりに悔しがった。だが、それ以上に孀恋高原で見る満天の星と天の川に感動しつつ、大自然のなかを自分の限界まで歩いたことに満足した様子だった。救護車に乗り換えるとき、「来年は必ずゴールします」と語った彼の横顔が清々しかった。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>